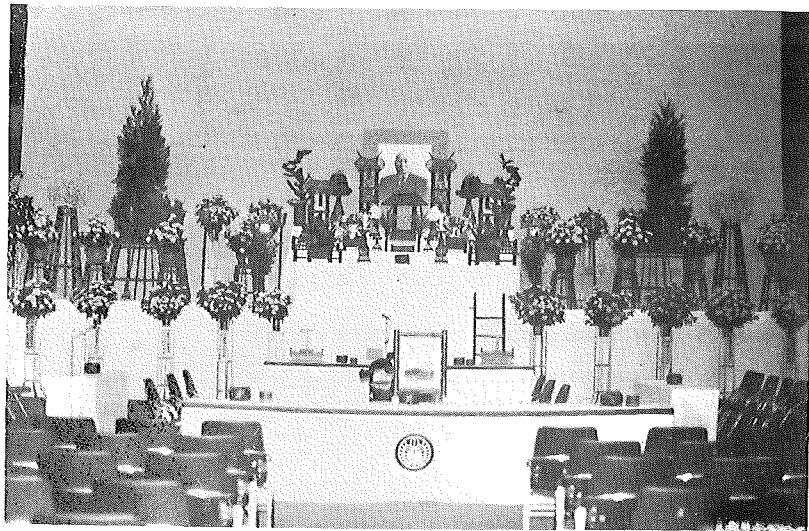


故惣津律士氏合同葬

雨の中、おごそかに読経は流れる



去る四月九日早朝 進んでゆきました。逝去された故惣津律士氏の合同葬は、故人の遺業、遺徳を偲び、生前、故人が生前会長をつとめられていた岡山県酪連、岡山県畜産会、岡山県養鶏協会、岡山県家畜人工授精師協会の四団体によって、四月二十四日、岡山市いづみ町岡山武道館において、しめやかに行われました。当日は、故人を悼むかのごとく小雨にうたれ、遺影は白菊の香につつまれ、読経の声はおごそかに、しずかに響き、六〇〇人の参列者の葬送の式は声もなく

故惣津律士氏略歴

明39・12・24 笠岡市に生る
昭7・3 九州大学卒業
昭7・8 農林省勤務
昭21・5 月寒種畜牧場長
昭24・11 岡山県畜産課長 以後監査事務局長、農林部次長、酪大校長兼任すると共に、日本ホル協、全酪協、中央畜産会、中央酪農会議、日本養鶏協会、酪農会館、全酪連の理事を兼任

法名 天月院牧羊慈光紹律居士

五月号目次

惣津さんを悼む……………1

荒木栄悦・加本一久
大坪藤市・三宅三郎
中村敬止・小松伊三郎
牧野 勉……………8

惣津さんを偲ぶ……………8

渡辺明喜・三秋 尚
永井 仁・蔵知 毅
小野登志男・大宮嘉造
上原茂喜・石井敏雄
花尾省治……………14

この頃思うこと……………14
葉山六蔵

ごあいさつ……………15
竹原 宏

謝辞……………16
石原和夫

◇鶏試だより
新、養鶏試験場……………18
村田武久

盆裁……………14
凡風人

弔辞

岡山県副知事 荒木栄悦

惣津さん、私は今、今日という日にあなたの霊前に願って葬儀委員長として、お別れの辞を申し上げるなど夢にも思っておりませんでした。まことに元氣発刺、快活そのものであったあなたは、長寿を保たれたご両親のすぐれた体質を受け継がれ、いつまでも、いつまでも、私どもの心からの友として末長くおつきあい願ひ、ご指導もいただけるものと信じておりました。

上げた時の私の気持は、全く奇蹟を信じずひこの人をもう一度元の体にと祈るばかりでした。

去る九日朝、訃報に接し遂に惜しい、まことに惜しむべき心の友を失ってしまったと余りにも人の命の果かなさに暗涙に咽びました。

然し考えてみると、惣津さんご自身恐らく長い、長い死の陰の不安と、身の苦痛との闘病生活に終止符をうたれ、今はむしろ頌徳の無といわれて、生身の体からあの清純なそして快活そのものだった心が抜け出して、苦しみのない天翔る世界に生まれ替ろうとしていられるのではないのでしょうか。少なくとも私はそう信じ、またそう思うことによつて、深い悲しみの中に精一杯心の支えを求め乍ら、お別れの辞を申し上げたいと思います。

去る四月九日付、ありがたい思召しをもって生前のご功績を賞でられ、従五位下四等瑞宝章に叙せられました。

故惣津さんは、明治三十九年現在の笠岡市有田の名門惣津家の長男として生を

受けられ、昭和七年九州帝国大学農学部を卒業後、農林省種畜牧場、同畜産局、南方資源調査室および東方軍総監部、農林省月寒種畜牧場長等を歴任され、昭和二十四年十月請われて本県畜産課長として着任されました。

爾来戦後の荒廃しきつた本県農山村の復興の為、畜産振興に力をいたされたのでありますが、とりわけ酪農振興については昭和二十九年酪農振興法の制定以来、美作・備中・旭東と相次いで集約酪農地域として国の指定を受けると共に、早くも流通、消費の面にも着目、総合施策によつて本県酪農の基礎を確立されました。

この間、惣津さんのご苦勞は並大抵ではなく、そのことは故三木知事の追記の中で、惣津さんご自身、昭和二十七年十二月三十一日は岡山県酪農界にとつて記念すべき日である、との書き出しでペンをとられており、時の三木知事の要請で、当時の農林省畜産局長であった大坪藤市先生を無理矢理中国方面で旅行の帰途を岡山に下車願ひ、危かしのセスナ機をチャーターして機上から三木知事が

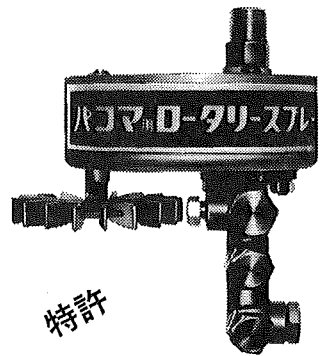
蒜山方面まで県内隅なくご案内という演出をされ、機上作戦は美事効を奏して全国に先がけて集約酪農地域指定をうけられましたことは、今は懐かしい思い出であり、業界の語り草

人手をかけずにパコマ豚体噴霧ができる

豚舎・豚体自動噴霧装置

パコマ用ロータリースプレー

SEP, ARの防止に



特許



※お問合せは林薬局へ
TEL 0862-24-6101

ともなっているのであります。

惣津さんの畜産への情熱はただ酪農に止まらず、和牛・養鶏・養豚と画期的な業績を打たれて来ましたが、県職員としての最後のご奉公は酪農の育成に情熱を傾けられました。自ら校歌を作り若い学生達と土まみれになって蒜山の空をどよめかすなど独特の校風を作り上げられたことは、ご尊父からうけつがれた教育者としての惣津さんの面目躍如たるも

嗚呼 惣津さん

島根県県会議員 加本 一久

私の恩師、惣津さんが逝くなられ

た。私は傷心のなかで、哀悼と追悼の意を表します。惣津さんは、長い闘病生活に苦しまれたようだ。この三月末、私が病院にお伺いしたのが遂に最後のお別れになってしまった。そのときは既に、かつての赤ら顔、特徴のある広い顔も青ざめていて力なく、クリクリした眼も閉じたままだった。私が言葉をかけて元気づけて

がありました。

昭和三十八年岡山県を退職後は、岡山県酪産・同畜産会・同養鶏協会および同家畜人工授精師協会の会長として、本県畜産の生産技術、分野において活躍願ひ、また一方全国的な夫々の畜産関係団体の役員として我が畜産の振興に大きな足蹟を残されましたことは関係者一同から高く評価され、限りない感謝の念で迎えられているところであります。惣津さん、あなたは戦後の最も困難な時代から引き続き今日に致るまでその卓

も、僅かにうなづかれただけの姿が今も、

眼にうかがふ。あの、烈々たるファイトを外に現わさないで、ヒューマニティーとユーモアに包んで、歩んでこられた惣津さんだけに、まだまだ生き抜いて活動して欲しかった。願うのは私一人ではないと思う。今、書棚を探して還暦祝いの記念誌「惣津さん」を読み返してみ、全国的にいかに多くの人々が、各界を通じて惣津さんを敬愛していたかがうかがえる。

越した識見と洞察力をもってよく本県の農業及び畜産の復興発展のため常に先頭

に立って指導性をもって全生涯を貫かれました。そのことは、ただ畜産界ばかりでなく広く国家社会に尽されたと言つて憚らないところでございます。

性豪放磊落誠意をもってことに当り時に叱咤激励の情熱を燃されるかと思うと、濃厚、慈父の情を以て人に接し、先輩、同僚、後輩等しく敬慕してやまない人柄でありました。このことは、ある意味で公私を通じてかずかずのエピソード、惣津ベースの技術、茶目っ気のあるセスチニアなど、今はもう語り草となつてしまつた。惜しみても余りある人を失つたが、どうか、惣津さん、とこしえに、安らかにお眠り下さい。

貴方の遺された功績は、良い種子となつて、岡山の土に育ち、そして花となつて咲き続けるでしょう。

さて、かつて、私は岡山在住十三年間、多くの先輩・同僚の知遇や友情をうけたが、故人となられた方々の中、特にショックを受けたのは故三木知事と惣津さんだった。お二人の似ている点は、ソフトな風ふうにふさわしからぬ情熱をこめ、精神を傾けて県政に奉仕されたことである。まるで、ろうそくの火が燃えるように、

はすでに生前巧まずして菩薩行を積んでこられた方ともいい得ましよう。

このような今はなき惣津さんのご霊の上にはきつと清々しくも幸福なそして安楽な仏果が待ちうけていることとごぞいませう。

私共参列者一同心からそのことを念じご冥福を祈り乍ら、もう一度ありし日の惣津さんを眼に浮べ乍ら、涙しなく悲しい今日の日の葬送の式をお世話さしていただく委員長としての追悼の辞と致します。

「人の評価は、棺をおおって定まる」というが、三木さんの生涯は「私なき献身」で、その偉大なる生涯が物語られている。立場は違ふが同じ時代、惣津さんは三木県政のもとで、全力を捧げて難関を突破し、県政に貢献されたが、遂に故三木さんの跡を追うようにして逝かれた。こうしたかけがいのない人々が相ついでなくなることは誠に惜しい限りである。流石、岡山には偉い人が育ち、そして献身的な活動が岡山の繁栄につながり、県民のために奉仕されてい

ることを思い、私は改めて敬意を表したい。

最後に、アナトール、フランスの書から、引用(要約)さしていただき、故人の霊に捧げたい。ペルシャ王・ゼミナルが若くして王位につき、万国史を学ぼうとして学者達に編さんを命じた。二十年経って、学者達は五千巻の膨大な史書を献上した。王は政務多忙の中で、史書を読破することは困難だとして略史を作るよう要請した。して申し上げれば、人は生れ、人は苦しむ、そして人は死したり。ということに

めて持参したが、それも不合格、更らに十年後、五百巻にしばって献上したところ、王は年老いて余命いくばくもないので、徹底的に要約したものを懇請した。五年後、老いさらばえた学者は、唯一冊の書を持って王に献じた。その時、既に

王は病床にあり、臨終間近の状態であった。学者は王の病床にまろび入り、拝顔した時、王は僅かに眼をあけて一冊の書を眺め、「ああ、余は遂に万国史を知らずして死ぬのか」と嘆かれた。その時学者は、「王よ、全万国史を最も簡略にして申し上げれば、人は生れ、人は苦しむ、そして人は死したり。ということに

つきます」と申し上げると、王はかすかにうなづきながら永遠の人になられた、という。

「人は生れ、人は苦しむ、そして人は死したり」という言葉は、多くの人々が「酔生夢死」をする中で、真に人として価値のある生涯を貫き、世のため人の為、尽くして、歴史上の人となった偉大な人物のためにある言葉ではなからうか。嗚呼 (昭和四十八年四月十九日夜 島根県飯石郡三刀屋町にて)

惣津さんの思い出

全酪連会長 大坪 藤市

惣津さんと私が特に深い心のつながりを持つようになったのは、私が昭和二十八年畜産局長に就任し、翌二十九年第一次集約酪農地域として岡山県の美作地域を指定して以来のことである。その当時のことを思い出すまま述べてみたい。

私が局長に就任する前から、当時の畜産局においては牧野忠夫技官

(現中央畜産会常務)等が中心となつて、今後の国民の牛乳需要を満たしわが国酪農の飛躍的発展を期する方策として、将来牛乳生産の中核となる一定地域を指定して国の酪農政策を重点的に行なうという、高度集約酪農地域建設要綱案が計画されていた。そしてその指定候補地として蒜山美作地区をはじめ全国で数ヶ所が考えられていた。この計画が発表される

と、俄然大反響を呼んで全国各地区から猛烈な指定要請の運動が起つたものである。この混乱を収束するため、翌年酪農振興法を制定し、集約酪農地域指定制度として法制化されることとなるのであるが、美作地区の指定は法制化以前の第一次指定であった。

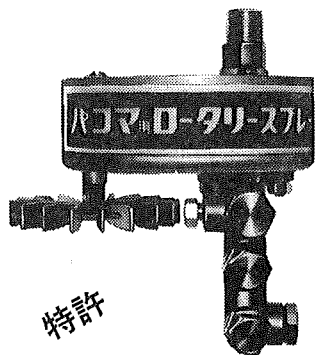
さて、第一次の指定をめぐって当然岡山県からも猛烈な運動が展開され、三木知事を先頭に県選出代議士、町村長、当面の責任者である惣津畜産課長等の熱心で執拗な陳情が続けられた。その頃私は用務のため中国に出張したことがあったが、広島の旅先に惣津君から連絡があり、帰り

人手をかけずにパコマ豚体噴霧ができる

豚舎・豚体自動噴霧装置

パコマ用ロータリースプレー

SEP, ARの防止に



Eisai エーサイ 東京都文京区小石川4

※お問合せは林薬局へ TEL 0862-24-6101

一寸でいいから岡山駅に下車して
欲しいとの連絡があり、岡山駅に下
車すると、当時の三木知事がホーム
に惣津君ときておられそのまほうむ
を言わせず知事の自動車で岡山空港
まで引きたてられ、空港に用意され
ていた小型飛行機に知事と二人で乗
せられて美作から蒜山上空につれて
行かれた。好天のため上空から眺め
た岡山北部地方はすばらしく、素人
目にも酪農の適地であるように思わ
れた。

弔詞

中央畜産会副会長 三宅 三郎

惣津さん、私よりずっと若い貴方
が先に逝ってしまったのは、天の
定かは知りませんが、何としても残
念でたまりません。
数年前から、むづかしい病気に悩
まされておられたことは承知してい
ましたが、小康を得られて上京され
た時など私達に心配をかけまいとし
てか、いつもの快活さをよそおって
おられましたね。
時あだかも畜産関係には困難な問

題が山積で、それだけに無理が重なり、
身心共に負担を重くされるのではないか
と推察してしまいましたもの、まさかこん
なに早くお別れすることになろうとは、
惜しんでも惜しんでも余りある思いです。
惣津さんとは、貴方が昭和十年、月寒
種羊場から本省に転移されて私と同じ種
羊係に入られた時、それが私と貴方との
お近づき始まりでした。そしてそれから
今日まで約四十年間、心の通い合った親

しいおつき合いをつづけていただいたの
でした。
凡そ、惣津さんと一緒に仕事をしてい
ると、どんなむづかしいことになつたか
つても、いつも明るく、そして楽しさをさ
え覚えたことが懐かしく思い出されます。
ごで郷里の岡山県に戻られてからは、年
に数回お会いする程度でしたが、私にと
って惣津さんの存在は、心構えの上でも、
仕事の上でも、いつも力強い支えとなっ
ていて下さったのでした。
惣津さんの熱情的な仕事振りと、その
反面、温情あふれるお人柄は、およそ惣
津さんを知る者にとっての心服的だっ
たといえます。
豪放磊落に見えて、その実綿密な裏付
に基いての活発な言動は、惣津さんの独
壇場といった感がありました。

全く思いもよらなかった悲しみ、か
えすがえすも残念でなりません。ここに

心からのご冥福をお祈りします。

惣津さんを想う

日本ホルスタイン
登録協会事務局長 中村 敬止

私は惣津さんと寝居や辛苦を共に
したという事はなかった。しかし、
惣津さんの性格をある程度知ってお
り、なかなか得難い人だったと思っ
ている。これらの点については誰れ
かが描写されることと思うから、そ
の点についてはその人に譲るが、情
熱的であり、うちにかなり激しさを
秘めておられたことにふれてみたい。

なり、国立の北海道農業試験場が新に設
立されることとなった。そのときに月寒種
畜牧場が目を付けられたのである。当時こ
の種畜牧場には二つの問題を抱えていた。
一つは一部が進駐軍の演習場に使用さ
れていた関係があつて、ホルスタインの
系統群を作出するだけの基礎を繋養す
るためには些か飼料用の面積が不足であ
った。第二は、優良ホルスタイン種牛群
を繋養するにわゆるブリーダーが札幌市
を中心として所在し、月寒種畜牧場の存
在を邪魔物扱いしていたし、また小姑的
な眼でみられていたことは確かである。

言われる日高山脈に源を発するシュ
ンベツ川の水を利用して、平坦な農
地が多かったからである。
移転の話が私ができることとなり、
惣津さんが涙を浮べて聞いていたの
は、今でも忘れることができない。
私は身を切られる思いもし、ずいぶ
ん冷たい奴だと思われたに違いない。
その時の私の心情を生前お話し申し
あげておかなかつたことは、今とな
っては心残りが出てきた。今とな
らないと思っている。
惣津さんは、月寒種畜牧場の名が
消えると共に、岡山県畜産課長に転
出されたわけだが、恐らく、そのよ
うな仕打ちをする畜産局に愛想尽し
をされたのではないかと想像してい
るが、思い過しであれば幸いである。

現在の農林省北海道試験場の前身
は、大正八年、月寒種羊場として設
立され、綿羊一〇〇万頭計画に関す
る種羊を供給する本場であつた。
終戦と共に、種馬牧場、種馬所、等
と共に統合整理されて、月寒種畜牧
場となり、綿羊以外にホルスタイン
種牛等が繋養され、惣津さんは鋭意
その充実に情熱を傾けられたのであ
る。

今までは前座的なものであり、次
の事柄が本当なのである。
官制上、月寒種畜牧場が消え、農
林省北海道農業試験場畜産部(後に
琴似から移転して農業試験場となる)
になつても、「農林省月寒種畜牧場」
のあの大きな看板をはずさないの
である。依然として掲げたままである。
それ程、惣津さんは月寒種羊場とし
て出発したあの歴史ある月寒に、情
熱と執念を持たれたのである。

その後年に、農林省関係の試験研
究機関の整備拡充が行われることと

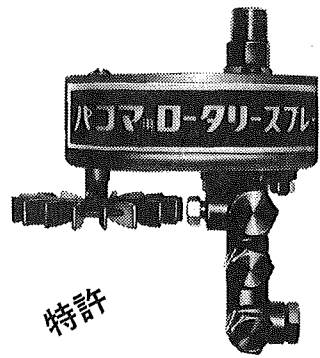
決めたのである。牧場職員の子弟の教育
に恵まれないのが最大の欠点であつたが、
土地が広く、土性よく、石灰岩が多いと

人手をかけずにパコマ豚体噴霧ができる

豚舎・豚体自動噴霧装置

パコマ用ロータリースプレー

SEP, ARの防止に



特許

Eisai エーサイ
東京都文京区小石川4

※お問合せは林業局へ
TEL 0862-24-6101

惣津さんは、また奇智に富んでいた。

戦後極度に減少した乳牛頭数を増加させ、低廉豊富な牛乳、乳製品を国民に飲んでもらい、国民体位の上を因るため酪農を振興させなければならぬと、集約酪農地域と名を打って、いわゆる酪農適地をこれに指定し、集中的に酪農振興を図る

惣津さんを悼む

小松 伊三郎

惣津さんは、いつも元気な人だったが、一昨年腸を患われて以来、とかく入院勝ちで、大変お気の毒に思っていた。それが四月九日早朝、逝去されたとうけたまわり、一時は耳をうたがいが、まことに惜しい人物を失ったことを惜しまれてならない。

惣津さんと私との出会いは、戦前惣津さんが農林省畜産課で綿羊の仕事をしていて、畜産課で誰か先輩に紹介されて、九州大学の同窓であり後輩であることを知ったのが初めてである。その後戦争になり、惣津

うとしたことは、皆さんの十分ご承知のとおりであり、その際に美作の約地域が誕生したのである。ところが指定条件としていろいろむずかしい条件があり、岡山地区と蒜山地区に分かれるのが真の姿であったと思われるのであるが、しかし、それでは確かそれぞれの面積が不足することになった。そこで、この二つの

岡山県ヘジャージー導入について惣津畜産課長は、本省係官や三木知事を飛行機で、候補地蒜山、津山を空から案内したということも、赴任して聞いた話である。当時としては全く意表をついた案内方法だった。

岡山へ来て昨年十二月、千葉市へ転居するまで、約十八年お世話になったが、その間惣津さんとは酪農を通して、あるいは酪農大で設立からいろいろの関係を持ち、大変気持よく仕事をやらせてもらった。

私から見た惣津さんという方は、一介の技術者ではなく、私には持ち合わせない、いわば畜産行政に卓越した手腕を持ち、仕事に対する熱意もさることながら、熟慮断行型のすばらしいタイプの方だった。

しかるに、六十六才を最後に忽然とこの世を去られた。私より九才も若いので、順序からいうと私がああ世の先達をする

地区を一つの集約酪農地域として畜産局に説明しなければならぬのである。ある有力中央団体の常勤常務理事であるM君は、当時この関係の審査役であって、ずいぶんやりとりがあり、その帯状の細い部分を彼は惣津廻廊と称してひやかしたものである。しかし、結局この惣津さんの奇智と適地であるという事実によって指定される

ことになり、その後の県のアフターケアが実を結び、県北の酪農の隆盛をみているわけでありませう。私は、惣津さんの人格を慕い、師の一人としておりました。惣津さんですべて昇天され、致し方ないとは思いますが、「祇園精舎の鐘の聲、諸行無常の響きあり」という実感をもっている昨今でございます。

は、永くに光り輝やくことであろう。岡山県畜産会、県酪連などに関係さしてもらい、ずいぶん岡山県内の隅々まで走り廻り、実地のよい勉強をさせてもらった。

終りに惣津さんをしるぶ思ひ出は、先ず逝くなられた四月九日は、時あたかも桜は満開、春爛漫というのに背を向けられたこと、そして宴会などの席で、余興となると「古城」という歌とおどりが得意で、それは天下一品といつてよかつた。惣津さんは、桜、古城でしのばれる。どうぞ安らかに眠って下さい。

決断と実行の慈父をしのんで

岡山県畜産コンサル会長 牧野 勉

謹んで故惣津会長のご逝去を悼み、安らかなご冥福を心からお祈り申し上げ、生前における幾多のご遺業をたたえ、常にご指導賜りました思い出の数々を偲び、衷心より感謝の誠を捧げたいと思います。

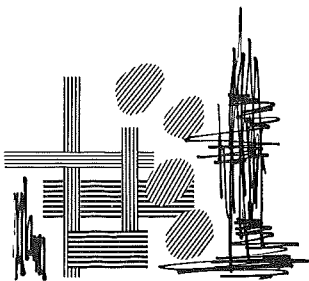
私は、惣津会長こそ真に「決断と実行」の父であり、岡山県畜産行政に残された偉大な遺業を見て、いかなる難問題をも優れた英断により解決され、お約束いただいたことを必ず実行して下さいました。その中でも特に最近の乳価交渉は、真に故人ならではの解決でき得ないことであり、とかく伸び悩む酪農も、ようやく経済成長の波に乗じて大きく躍進を続けられておりますことは、偏に会長のお力でありませう。

こうしたご遺業の蔭での人知れないご努力とご苦勞は遂にその極に達し、会長の尊い命取りともなりませんでした。その間一日たりともお心の安らぎはなく、ご療養中にも度々上京、

責任を果されました。また病床を尋ねました最後の悲しき日までご指導をいただき、畜産振興にご尽瘁賜りましたことは、先生への信頼とはいえ、そうしたことが国宝的惣津会長を早く失う要因ともなるとは……かえすがえすも残念至極であります。

酪農後継者造りには特にご留意いただき、県立酪農大を創設され初代校長となられました。毎年送り出される後継者は第一線で活躍を始め、中四国酪農大学校にまで進展致しました。このご遺業についてもまた故人のお力はとこしえに続き、広く限らない酪農発展の基礎造りをされたのであります。吾家にとりまして幸い酪大第二期生としてご教導をいただいた後継者は、今希望と夢を抱いて酪農経営に精励しておりますが、これも惣津先生のご指導の賜物と父子共々感謝の毎日を送らせていただいております。

畜産コンサルタント事業につきましまして



SQUIBB

増体と肉質の改善にすばらしく効く



天然ホルモン肥育剤(耳根皮下移植剤)

シノベックス

S(去勢牛用)一黄色ベレット
H(雌牛用)一白色ベレット

輸入元

日本スクイブ株式会社

東京都港区赤坂3丁目2番6号(赤坂中央ビル)

発売元

昭和薬品化工株式会社

東京都中央区宝町1-5(味の素第一新館)

出席者

渡辺 明喜
(岡山県畜産課長)

三 秋 尚
(岡山大学助教授)

花 尾 省 治
(岡山県酪産連参事)

永 井 仁
(中四国酪大副校長)

蔵 知 毅
(中央畜産会参事)

小 野 登志男
(福田種鶏場専務)

大 宮 嘉 造
(オハヨー乳業専務)

上 原 茂 喜
(岡山県畜産会事務局次長)

石 井 敏 雄
(岡山県畜産会事務局次長)

順 不 同

津 惣 人 間

特 別 座 談 会

天 月 の 慈 光

A・まことに新しい方をなくしてしまいました。このような方に、二度とお目に
まいました。また、このような座談会に
お集りいただくことは残念でなりません。

先年、会長の還暦祝いの時、「惣津さん」という小冊子が出されましたが、これを改めて見ますと、投稿されている六一名の大部分の方が、会長の役人生活での豊富な知識と実行力によって、今後の日本の畜産界での活躍を期待しておられます。それがこのように早く、お別れを告げなければならぬとは、誰もが思ってもいなかったことです。

残念なことではありますが、会長をもう一度偲び、「人間惣津」という面でのお話を皆さんに伺いたいです。
B・大事な方をなくしたという思い
でいっぱいです。

皆さんにぜひご報告しておきたいことがあります。昨年入院された時、私も畜産課に帰任しましたので度々お見舞に伺いました。その時頭が下がる思いをしたのは、自分の病状のことは一言も口にしないで、部下職員のことばかり心配されているのです。今年になって入院された身体が衰弱してからも、目を半眼に開いたような状態でさえ、部下職員、かつての後輩達のことばかり心配されておられ

ておられたのです。
C・字もよく書けないので、おまえ書いてくれというところで、代筆したこともありました。

D・そんなにも部下のことを心配されておられたのです。
小野さんと私が民間人ですが、我々から会長をみた場合、まことに部下の面倒見がよかったですね。部下がかわいかったですね。そして一度会長の下で働いた人は、皆んな会長を慕っておりました。これほどの人が今後官民を問わず再び現

われるでしょうか。

E・俗にいわれている惣津学校の私は最後の生徒だろと思うんですが、今に思いだされるのは、就職する時人事課で面接を受けて、旧県庁の階段を下りた所に会長がおられ、「おい、とおったぞ、恩給になるまでつとめいよ」とはげまされたことです。そして心残りは、今回の辞令をもらい病床にご挨拶にいった時、会長の奥さんから、何か話があるそうです、とうかがい、三回病院をたずねました、三回ともおやすみの時ばかりで、とうとう何もお話をうかがうことはできませんでした……。

F・私のところの研究所長を三代とも惣津さんにお世話いただきましたが、初代の伊藤さんは惣津さんより先輩だっ
たはずですが、それでもいろいろ心配されて、日曜出勤などしていると、惣津さんは自分は休みなのに慰問にこられてましたね。

G・先輩へ礼をつくすという気持ちの現われでしょうね。
B・非常に礼儀正しい方で、年上の人には絶対君呼びなどしなかった。そして面会の人があると、ネクタイを締め直しちゃんと靴にはきかえて応対しておられましたね。
D・ここにこうやって話をしている、たった一人の人間が昇天されただけなのに、燈台の灯が消えて足元が真暗になっ
たように感じるの、私の六〇年の人生

で初めてです。それだけ偉大だったのでしようね。

H・皆さんの話をきいていると、会長は死んでいないんだという思いが一層深まります。大学からの帰り道、岡山市水道局のところを左に折れると会長が入院されていた大学病院、右へ折れると私の家へ帰れるわけですが、ふと気が付くと病院まで来ていることが数回ありました。ああ会長はもういない人だ、これではいかん、お宅へうかがってお骨の前に座ってみればと思いつくと、なおさらまだ生きておられるという感じになるのです。そこで故人を偲ぶこの座談会で、皆さんの口から会長の死を聞けば私も納得がいくのではないかと思います、お話を聞いておられますが、まだまだとても死んだとは思われません。皆さんの心の中に会長は生きておられます。死による淋しさはありますが、皆さんの心の中に会長のつけた火は燃え続けてゆくでしょう。

皆さんがおっしゃられたように会長はひとのことばかり心配されておられましたね。私が最後に言葉を交したのは三月三十一日でしたが、学会に行くためその晩は病院に泊って次の早朝に発ちました。早朝、会長は何時に発つんだと数回尋ねられ、付き添いのオバサンに、三秋が東京へいくから紅茶を作ったのませてやってくれ、など私のことばかり心配してくれるのです……御自身はかなりの肉体的苦痛があったらどうと思えます……。

A・大宮さん、乳価交渉での思い出はたくさんあるでしょう。
D・あの方は、独特の雰囲気をつくり出して、そして思うところへまとめてしまわれるのです。失礼な言い方ですが、ただの役人上りではない、あの方の人間性の面目躍如たるころですね。
G・乳価獲得のためにはずいぶん山も売られたでしょうね。
D・そうでしょう。うまいかないとすぐ自分の山を売ってでも乳価を払ってやるとか、腹を切ってもやってみせるとか、ずいぶんハッスルされておられました。最後には本当に自分の腹を切るまで頑張られたわけですが、その交渉は天下第一品でした。このへんという最後の目算を決めておいて、うまいことそこへもっていく手順は、誰でもまねをすることはできませんね。

私の会社の社歴が二〇年、惣津さんが畜産課長時代からのお付き合いですが、その間には甘い思い出、辛い思い出、入り混じっておりますが、立場は違いますが、それがそういふものを忘れ去って、この人



講演される惣津会長

のためならばという気持ちになり、人間的に引きこまれるところがありました。最後には以心伝心で事がわかるころまで来たとき、私は自分で信じております。F・一度お付き合いをすると忘れることのできない方でした。

もう二〇年も昔になりますか、当時は種鶏を全羽数難白痢検査していました。その検査手数料が五円だったものが、我々が全く知らない間に一〇円に値上げされ、後で業者に知らされた。そこで我々は大さわぎして、今でいうゼネストまでした。そうしたら惣津さんが、よし解った、ということで、県議会まで通過していたものをどう工作されたかは知りませんが、もとにもどして下さった。その時、



共進会で入賞牛にメダルをつけられる惣津会長

県の畜産課長とは偉いものだと感じました。

D・酪農でもあの方が岡山方式なるものを造り、皆さん方がそれを盛り立ててこられたわけですが、西日本一の市乳供給県として今日あるのも会長のお蔭ですね。

C・畜産課長時代から諸団体の育成にも力を入れられ、特に北酪の運営がおもわしくないとき、会長ひとり努力されておられました。肉の問題でも苦労されましたね。

G・そうですね。競馬の問題、肉の問題、酪農の問題、あらゆる面で苦労され、そして真剣にとりくんで解決されました。

A・それに各地の育成場の問題、畜産公社の問題を心配されており、いろんな専門書を取り寄せて研究されておられました。

G・最近特に肉の問題を重視され、酪農と肉の結びつきについて勉強させておられましたね。

I・私が畜産公社にいた時、県が運営している公社が成り立たないようではだめだ、なんとかしなければ、ということとで側面から援助していただきました。

C・畜産農家の模範にならなければならぬ所が成り立たなくてどうするということ、まず酪大を、その次は畜産公社をなんとかしてやらなければ、といわれて心配しておられました。

※ ※ ※

D・お役人さんを我々第三者から見れば、それぞれの専門を深く進める人が多いのに、あの方は、畜産全般に精通されておられましたね。そして中央へ行かれても皆さんから頼りにされておられました。いろんな人から惣津さんはどうしたんだ、大丈夫か、と問われ、いや今に元気になってまた頑張られますよと答えていたのですが。

F・養鶏は専門外だったのでしようが、養鶏協会設立以来ずっと会長を引き受けていただいたし、中央の理事もつと



紹 律 の 士



H・皆さんの言葉の中に「人間惣津」は浮き彫りされておりますが、もう一点感銘をうけていることは、「おれは技術屋なんだ」という信念をつらぬいたことなんです。時に行政の圧力がふりかかっても技術者の立場ではねかえしてしまわれた。その技術も畜産だけでなく、農業全般にわたり、更に最近ではベトナム問題から世界の食糧情勢あるいは教育問題など幅広い視野に立った技術者でした。

そのみならずは何かからかという、驚くべき量の書物を読まれることからきているのです。

めて下さいました。また東京での会議にもご多忙の中をよく出かけていただき、帰られると我々に必ず報告して下さいました。そして我々のいうことも、よく理解して下さいました。

E・中央でいかに信望が厚かったかということ、全酪連の役員になられたことは解ります。中国ブロックの推選では監事ということでしたが、中央で大変頼りにされ、何かあれば相談されておりましたね。

C・全酪連の大坪会長が惣津会長を

C・読まれるのが実に早いんですね。それも広い分野にわたってでした。感心したのは、監査事務局へうつられた時、養鶏の原書を取り寄せられ、勉強されておられたことです。

H・それが技術屋根性だろうと思えます。現職を離れてからでも新しいものを常に吸収してゆく態度ですね。

ずっと前に、会長からすばらしい技術者はすばらしい行政官になれるんだ、という話を聞いたことがあります。技術の窮極をきわめつくすまで努力すれば、何事にも対処できるということでしょうが、



渡辺明喜氏

会長は生涯を技術者としてすごされた方です。

D・反面、処世術はへたな方でしたね。自分の信念のためには、我が身の栄達は望まなかった。いわゆる古武士のな面が強かったですね。それだけに、あれだけの英智と手腕をもちながら、お役人としてはあと一步のところを終られたのではないかと第三者として思うのです。常に仕事の為、他人の為に身体を投げ出していた信念の人であったと思います。我々も見習わなければいけませんね。

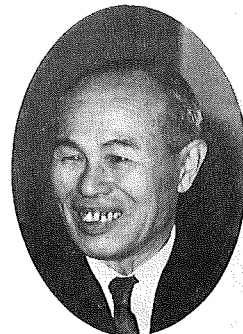
H・そのとおりですね。処世術にはたけておられなかったが、自分の信念を貫かれました。その為には間違ったことをしてはならないので、多くの人の意



三秋 尚氏

見を聞き、いろんな書物を読まれたわけですよ。

F・私の社がプロイラーを始めたのが昭和二十七年ですが、当時はめずらしいもので一〇〇羽も飼っておれば大きいほうだった。そこで一日惣津さんとゆっくりプロイラーについて話し合う機会があり、その時私は一生懸命プロイラーの現状と将来性について説明しました。その後惣津さんも勉強されたのでしよう。しばらくして、プロイラー・インダストリーのために頑張ろうじゃあないか、といわれるのです。その当時こんな大きな構想をいわれる人はいなかった。この惣津さんの言葉にずいぶん勇気づけられたものです。



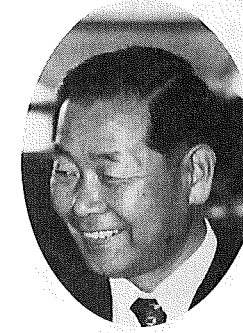
花尾省治氏

会長の意にむくいるよう努力しなければと考えております。

C・草地試験場の新設には熱意をもっておられました。病院へ伺うと、四十八年度予算に草地試験場建設費を組み込むよう言ってきた、とコンコンといわれました。また、草のことを研究させるために三秋先生を岡大にやってのけるのだ、自分のできなかつたことを彼にやらせるのだといっておられました。

I・三軒屋の旧種畜場をうまく処分されて、新しい試験場を造られた。それによって岡山県の畜産が大きく伸展する、もとなりましたね。

H・花尾さんのいわれた、私に岡大へいって草地学をやれ、という話もうすうすは感じていました。会長が今年入院されてから初めて会長の口から聞かされました。それで自宅へ伺って書棚をみると、草地学の新しい外国文献などがずらりと並んでいるのです。会長自らも勉



永井 仁氏

強されていたのです。

草地試験場を造ることは技術者としての会長の夢だったので。技術者が育つところは試験場だ、だからそこを整備し、優秀な技術者が多く育てば行政もうまくいく、というお考えだったので。D・そういう意味で酪農大も造られたのでしようね。そこから現在優秀な後継者が育っているのだから、大きな足跡を残してくれておられますね。

F・草の反対なのが甜菜でしょうね。断固反対されました。県が振興しようとするに現職の畜産課長があんな大きな声で反対論をぶちあげていいのだからと心配していましたが、結果はご承知のとおりで、やはり先見の明をお持ちだ



牧 羊 の 燈



B・会長の心残りであったろうことは、我々後輩が引きついでいかなければなりません。会長は常に、畜産を支えるものは飼料基盤だといっておられ、今

年になってからでさえ、草地試験場を造れといわれておられました。昨年から濃厚飼料の暴騰をまのあたりにみて、会長の考えの正しさを痛切に感じており、

ったのですね。

D・まだお若くてなくなられたのですが、それでも数年前から体力の限界を感じられたのですか、酪農はだれそれ、養鶏はだれそれに頑張ってもらわなくてはと、会長の後につづかれる後継者のことを心配されておられました。花尾さんから、死ぬ数日前にあの方が、病気が良くなつてまたごほんをしっかりとたべて、運動すれば、こんなに細くなった足でもまたもとになり歩けるようになるだろうなあー、といっておられた話を聞きまして、最後まで希望はすておられなかったのでしょうか。

E・還暦の頃から青年や後継者の教育のことを盛んにいっておられました。筋金の入った青年の研修所を造りたいんだが、どこから金を集める方法はないものだろうか。

G・後継者の育成、農業者の技術訓練には昔から熱意をもっておられ、酪連にうつつてからも叫ばれていました。

C・酪連が経済連より清音クーラーを買収した時、併せて研修所を造る予定



小野登志男氏

でしたが、狭くてできなかったのです。

H・若ものを育てることには熱心でした。また反面、会長は六十有余年の生涯を通じて「人間惣津」を形成されたのです。会長にも欠点はあったはずですから。

D・人間ですから大きな欠点もあっておられたでしょう。しかし、常に我が身を投げ出して事にあたられた、つまり欠点を補ってあまりあるいい点を多くもっておられた。だから皆んなが慕って集るのである。

C・酪連会長になってからでも、県の職員、県を退職された方や県会議員の方達が、ちょっとそこまで来たからといっては寄って行くのです。

G・県畜産課の職員など辞令をもらったら、一番に会長のところへ挨拶に行つたものですね。



大宮嘉造氏

てはいるんだけど、とてもあの方のようにはなれないなあーと思いました。

H・会長は一面よりのみ人間を見ないので。あらゆる機会を通じて一人の人間を評価するのです。会長の人事をみていると、組織の中では不遇な立場にたされる人も出ますが、時間をかけてその人をすくいあげておられます。だから病床の中にあつても部下を心配されているのです。

D・字が書けない、辞令も読めないという状態でさえ、部下やその将来のことばかり心配されていたとは、全くえらい方でしたね。

還暦祝いに周囲の人に記念の冊子を出してもらえろなどという人は全くめづらしいですね。それほどまでに皆さんに慕われていたとは、短命ではあつたかも知れませんが、幸せな人だったとも言えますね。

A・仕事面においてはかなり長生きされた分量をこなされておられますよ。



上原茂喜氏

E・三木知事と会長は好く似ておられましたね。

D・なかなかの好敵手で、表面上ではかみあう仲だったのでしょうがね。

A・三木記念賞はいい贈りものだったですね。

H・私は、会長と話をする時は非常に緊張して、考え考えながら話をしなければなりません。会長は私の話をうんそうかそうかと本気で聞いておいてですが、何日かたつて会長はそんなことは十分承知の上で相手をしていただけがわかり、このようなことが度々ありました。それは多くの人から物事を学びとろうとする態度の現われだったのでしょう。

しかし、私にとっては会長との対話は苦手で、おそろしく非常に緊張します。自分の浅い知識や識見の狭さを見抜かれたいだろうかというおそれなのです。ある時、このことを話したら、会長も、私は三木知事さんと話をする時、一番緊張し、恐ろしさを感じていたと話して下さったことがあります。会長にでもおそろしい人間がいるのかとびつくりしたこ



石井敏雄氏

とがあります。

E・三秋さんがおそろしいぐらいだから、我々がおそろしかったのはあたりまえだな。

C・貧乏ゆすりのはげしくなった時はちょっと近寄れなかった。仕事の上で

は非常にきびしかったが、仕事を離れると思ひやりのあるやさしさのある人でした。

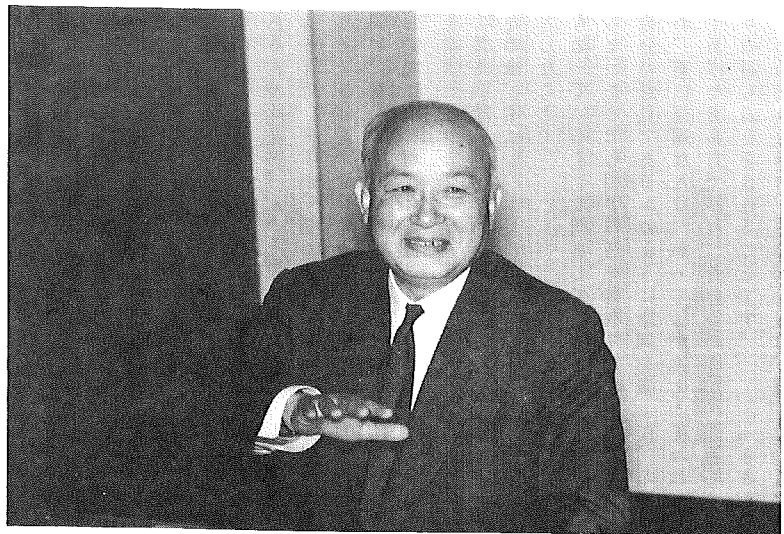
E・あの年になられても茶目っ気の多分にある方でしたね。いつだったか、

会長と花尾さんと私の三人がビルの五階から降りる時、歩いたほうが早い、いやエレベーターを待つほうが早いという話になり、花尾さんはエレベーターで、会長と私が歩いて降りることになった、

したら会長は、各階のエレベーターのボタンをおして降りられる、当然エレベーターは各階止りになる、そして下まで降りてニコッとされて、

どうだ歩いたほうが早いだろう……。C・いやあの時はやられた、止まる

笑顔で語るありし日の惣津会長



けど乗ってくる人はだれもないんだから……。茶目っ気もあつたし、それに非常にはにかみ屋で、会議ではネクタイをほどこいたり締め直したり、また椅子のひじかけをなでまわしたりね。タバコをやめられてからは特にはげしくなりましてね。

F・惣津さんを加えての宴会もたのしかったですね。すぐ踊りを始められてね。

D・残念ながら私はそういう経験がありませんね。

F・それは乳価という直接の利害関係があつたからではないでしょうか、当時は現在の川崎養鶏試験場長がいつしよになつてさわいでおられましたよ。

E・その場の雰囲気をつかんで、パツと宴会を盛り上げるコツをつかんでおられました。

それに議会でも人気者でしたね。農林委員会などで、無味乾燥な予算項目を時間をかけて説明するわけですが、議員が畜産課長もつと早くやれという、やってもよろしいか、それじゃというわけだ二〇分程でかたづけられました。ちょっと待つてくれという、早くやれといつたではないか、ですませてしまった。そのあとをどこかの課長が真似したら議員にえらくしかられたそうですね。要するに場をつかむコツがあつたわけですね。

C・惣津課長が、その件については

まかせてくれといつてボンと腹をたいた、それをみていたその課長が同じことをやった、そしたらえらいつるし上げられて收拾がつかなくなったのですよ。

I・病院からお宅へ帰られた時、上原さんと二人でひげをそり、髪をととのえてあげ、そして蒸しタオルでお顔をきれいにふいたあとは、全く安らかな寝顔で今にも話しかけてこられるのではないかと思いました……。

D・私がその後へ伺つたのでしょう。最後は苦しいものでしょうが、全く苦しまれた様子もなくすこやかな寝顔でした。私の脳裏に一番焼きついている姿は、乳価交渉で、赤ら顔をして、ネクタイをほどこいたり結んだりしながら議論している勇ましい姿ですが、生涯を通じて、仕事を通じ、満足感のあふれた立派な寝顔をされて静かに安まれておられました。

あの方がなくなられて、岡山県の酪農が、いや畜産が衰微したなどということがあつてはならないので、あとに残った我々は心を引き締めて頑張らなくてはなりません。

A・いくら話をしても会長にまつわると話はずきないでしょう。いまは静かに会長のご冥福をお祈りしたいと思います。

会長のきき上手

私が止宿しております部屋に、この家の若奥さんが書かれたと思われる『有徳者必有言 有言者必不有徳』という軸が床の間にあります。

徳のある人には必ず言葉が伴っているが、よく話をする人が必ずしも徳のある人ではない、という意味のことだろうと思いますが、朝な夕なこの軸を見るたびに思いますことは、私共の周囲に、何んとまあ、徳のみならず智も無いのに有言者が多いことでしょう。

最も典型的なのは、常にどんなことでも知っているような顔をして、例え知らないことでも相手の話を横取りして自分の意見であるかのように語調を強め、更に極端な人は、かつて私が教えてあげた考え方でですね、といわぬばかりの話しぶりをされることです。

そのような場合、気の弱い人は、確かにそうだったようだと錯覚して話に追従し、賢い人は、馬鹿らしくなって口をつぐむのが通常のようなようです。

ところで、今は亡き惣津会長ですが、多くの人が追憶しておられますように、今後に残された道だと思えます。

有徳の方ですからその言は誠に明快で説得力もあり、何時も感服させられたものですが、私はそのことよりも、会長のきき上手に感心させられたもので

私共が何かお話をすると、何もご存知ないようなお顔で、熱心に聞いて下さるものだから、一生懸命にお話をしますと、最後に、ひと言、ふた言、意見を申されるのですが、その一言二言が誠に適切で、ぐっと腹にこたえたものです。後日判ることですが、私共がお話をしたことは、既に十分ご承知で、ご自身種々検討を加えられていて、とが多いのです。

若し私共がお話をしようとした最初

に、『そんなことは知っているよ』と言われたらどんなでしょう。知らない顔をして感心して聞いて下さるその「きき上手」さのなかに惣津会長が多くの人に慕われる秘密の一つがあったように思われます。

畜産界のよい先達を失った私達は、会長の徳としておられたものを、一つづつでも身につけて精進することが、今後に残された道だと思えます。

盆栽あれこれ

凡風人

盆栽に花をつけるには

盆栽に花を咲せたり、実を結ばせて楽しむ盆栽がありますが、花が咲かないとか実が結ばないことがあるでしょう。要領として次の事を考えてみましょう。

1. 余り植え替えせず施肥、灌水も極力少なく枯死寸前に持つてゆくこと。
2. 盆栽にふさわしくない大きな鉢を使用しないこと。
3. 用土は培養したものを使用しないこと。
4. 日照を考慮すること。

盆栽愛好家ならば以上のことを考慮して常日頃から管理しているわけである。これは盆栽に対する愛情というものである。

花を咲かせる方法には盆栽の種類と環境によって異なってくるもので、その環境とは愛好家の生活、気象、地域の各環境がそれぞれをことならせるわけである。

樹種によってその環境を考えなければいけない。一例を「石楠花」に

とってみよう。石楠花の自然に生育しているところを思い出してみましよう。水はけのよい日当りのあまり良くないところでしょう。こんなところでは土用に入ると雨量が少ないのに美しい花が咲いていることを考えてみると、花芽は土用の条件で決定されることを思いだしましょう。鉢植えでも同様の事を考えて管理することが大切である。

また、梅もどきを考えてみると、湿地のようなところで生育しているでしょう。土地のあまり肥沃でない水分の多いところで、特に梅もどきのように雌木と雄木に分かれている樹種は雄木が近くに必要なのである。

サツキ等は日陰で作るとか八月以降にせんとすると花芽はつきません。普通植物の花芽は七月下旬から八月中旬頃までに発生するものが多い。それまでに適切な管理をしなければ花芽は発生しない。またこの時に花芽が発生しても、八月下旬から九月上旬に水分過多になると花芽が葉芽に変ることを考えなければいけません。

しかし樹種によって異なるので一言に言うこともできないでしょう。

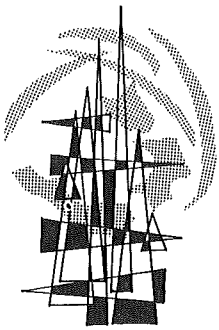
ごあいさつ



岡山県酪農試験場長 竹原 宏

この度の人事異動で、酪農試験場に十六年ぶりにお世話になることになりました。

笠岡家畜保健衛生所に在動中は大変お世話を賜りました。相変らずご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



姿を留めておりました。また、丘の上の赤屋根のキング式牛舎は、その当時としては珍しく、津山市の名所に加えられた程でした。また県内は、集約酪農地域の指定をうけて、酪農振興が盛でありました。津山市も蒜山に呼応してジャージー種を導入しました。試験場の周辺には新しい酪農家が続々と誕生しました。私達は、建設業務の傍、新に酪農を始められる人達のために、牛舎の建て方、搾乳の方法、乳牛の飼いやといった酪農の基本的な指導に多忙を極めました。しかし、私達は業務の遂行に情熱をもち、生甲斐を感じておりました。今、当場の酪農部は、国の中核試験場の指定をうけて、いろいろと大型の試験に取り組んでおります。また、養豚部は、SPF豚の作出試験を一応終了して、清浄豚の普及技術の開発に取り組んでおります。牛は一〇〇頭、豚は四〇頭を越えております。圃

場長公舎は、事務所南の見晴しのよい高台にあります。朝、雉のなき声に目を醒すと、数羽の親子連れの雉が窓辺の近くまで遊びにきております。下を宮川が朝もやの中に流れております。我々はこの辺りを上河原田圃と呼んでおりましたが、今はその田圃一帯に住宅が建ち並び、津山の街が足下まで延びてきております。しかし、牧場の朝はまだ静かです。小鳥や牛の声以外には何も聞えません。こんな時、私は先代の場長さん方は此処で何を考えておられたらうかと思うので、私は何をしたらよいのだからかと考えるのです。思い余って公舎の中の残香を臭いで廻るのです。

最近の農業、いや酪農も誠に流動的であります。特に本県の如く交通の要衝に位置し、工業地帯を抱擁するところでは、その速度は速いように思えます。自立経営を目指し、企業化した先陣は、既に一〇〇頭に垂んとし、数頭を飼う複業酪農との間に極めて多岐に亘る生産技術の要求があります。そしてまた、立地により、

地帯により異った条件を要求します。私達は何に対応すればよろしいのでしょうか。十六年前は、酪農の基本的な技術でありました。現在はその応用技術であります。各階層から最も要求度の高いものを選びねばなりません。そしてその研究を遂行しなければなりません。私は県の試験研究機関では、研究手段よりもこのテーマの取上げ方のほうがより重要ではないかと思えます。この点は他の農業関係試験場の共通の問題のように思えます。

私は當場にお世話になる前を、蒜山の酪大に五年、次に津山の家保に三年、次に笠岡の家保に三年おりました。幸いに第一線で北部の畜産、南部の畜産の実態に接しております。この経験を試験研究の上に活かして、酪農家、養豚家の皆さんのご要望に応えたいと思えます。研究者は緑の下の方で僻みばくなります。度々ご来場下さってご叱責を下さい。最近、活性汚泥の浄化槽ができて、五月中旬には豚糞の乾燥、焼却施設を完成し展示します。おいで下さい。

謝謝（自然は美しい！）

石原和夫

涼気が、心の奥まで滲みとおり、空気が、とっても美味しい。山野の緑が、こんなに鮮やかに私の心を慰めてくれるのかと感謝した。横井さんが二十八年振りメガネをかけて天を仰いだように、美しいオゾンを降らせている星、星、星があることを忘れていた。都大阪では、大空がネオンとスモッグにさえぎられ、前衛的服装や女性の美感帯に心を奪われたが、一番の原因はモグラ生活が多かったこと、星の存在を無視していた。

が一向に出ない。万全の力をこめても駄目、初日からこんなことではと焦るほど達せられない。目をつむって、おふくろのことを考えてから目の前をみると、そこに白い膜があるではないか、人生何事もこれを破らねばスタートできないことを悟った。非常に簡単なことでした。出たり、出たり、真白い紙に、これで家畜保健衛生所に仲間入りできた感激した。

これは、定期異動で津山家畜保健衛生所次長に着任するため、岡山の田舎で一夜明かした第一印象です。八トンの荷を置もつけない間もなく、新任地を訪れた。真新しい机と事務用品が手渡され、これらが一斉に、「何事もせくんではないゾ、明るい職場、働きよい職場をつくることがお前の使命なんだ」と呼び、論じられてきた。

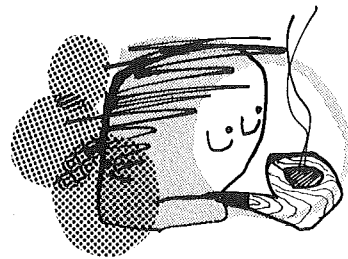
先づ、初仕事に身辺の環境からと、机の中に白紙を敷くため、糊を取り出した

管内のあいさつ回りをすると、先輩をはじめ、津山、蒜山の教え子と会い、懐かしさがこみあげた。各所で大阪より高さがこみあげた。これからは投稿を望む声が高いが、生来、読み、書き、そろばんは不得手で、異動が決ったとき、週報、月報、大阪日より、畜産だよりを書かなくて済むと、ホッとしたのが実感だった。実際、脳学校こそ出ておれ、音訓の区別、

接続詞、助動詞はおろか現代かなづかいとなると、全く落第生、文学的素質のない私が投稿したのは、それなりに動機があった。それは、大阪転動に際し、地元畜産物の流通パイプの敷設と情報の収集くらいと軽い気持ちで都入りしたところ、所長も交代で、前所長（よく知っていたこともあって）その年になって大阪へか、無理するなよ」と言われ、現所長から常々、技術屋は視野が狭くていかん、調査物が部分的で大勢を忘れていかん、流通行政は技術屋より事務屋のほうがよいんだ」と聞かされ、ようし、ドブ鼠のようであらゆる所に頭を突っ込んで頑張ろう、畜産課出身の次長の後援があつて心強かったが、総務から「かけはし」に投稿する者はと言われれば一番乗りして交通と環境の世相にあつたバイコロジをテーマにサイクリングを、毎月定例の勉強会に話題提供を何時でもできる準備をし、所長がまたお前かと言うくらい頑張った。

それと、拙宅の異色は数々あるが玄関に「夢」の彫版と等身大の鏡、便所のカレンダーなどで、恍惚にならないような家が夢と希望で飾って、カレンダーから畜産だよりの発想が生れる訳です。ご存知のように内向的な性格から人前

ではスラスラ書けず、隣人は、週間誌の新進作家のように手早にと思っているようですが、意外な時間帯に手が動いているのです（笑）。技量が拙く、ほかに使えぬみちのない大工のことを雪隠大工というが雪隠便所の中くらい退屈なところはない、特に大のほうは排せつ中のこと、私は、腰かけ式便器に机をおき、原稿用紙、鉛筆、書籍、茶道具、でき得れば小型のラジオ、テレビを置きたいと思っているが、今だにジブシー生活で持家に住めなく、夢が果せないが、思いもよらない発見をすると思います。今は、花を生け、正面にピーナスのカレンダー（横に天気、諺入りのカレンダー）を飾り、鼻先の燃える太陽からハイビスカの匂りがただよう中で、つぎつぎと頭に浮かぶことを綴った。未婚の姪もここには若さがあると言うが、朝夕楽しみに足を運び、快通健康にもよいと信じている。



このような基盤にたつて、全国各地から集まった大阪商人？にスキミングしたり、夜は大阪ではの演劇、寄席で世相を聞いた。時には、ルールの解らないアメリカンフットボールに行つて手真似で話した。新聞記者ではないが対等の態度で臨み、相手が主婦連会長であろうと面談を求めた。白髪頭が功を奏した面が多かつたかな、一年もすると路上で久しぶりだナと口を効けるようになったり、顔を出すか机の中の資料が先に飛び出たりする仲になって痛快であった。大都會が、従来は単に多数の人間が集まり、生産流通の発展だけ追求してきたが、時代は流れ、都市は人間と人間のふれ合う生活の場として考えていかなければ新しい生命を育てることも、豊かな文化を創造することもできないとして、隣住区構想が樹てられ、人間尊重の都市空間と町づくりが進められ、また大気汚染対策によって星の見える街、魚の泳ぐ、水の都にと新下水道整備だけでも千五百億円計上されているほどで、大阪市に住む人間の真の幸福、生甲斐について多くの問題があげられ、環境の保全、生活基盤の整備、市民福祉の増進、文化の向上とよりよいものにする作業がどんどん進められる七三年度だけに、これからガンバラナクチャーと意気込んでいたが二年でピリオドをうった。わずかだったが、皆様から可愛いがられ、苦しかつたことも語り草となり、数多くの教訓をうけた

大阪は、百円ボルノやビール大瓶百円を愛しただけに感無量。後任には、何事にもとことん探究される情熱家で、闊達な方とききしの小山且氏が活躍されますから協力願います。戦後二十七年から二年にわたって放送され、当時銭湯の女湯がガラ空きになるほど庶民生活の哀愁と詩情で人の心を感じさせた君の名は「や」鐘の鳴る丘の原作者亡菊田一夫が「忘却とは、忘れ去ることなり……」の名文句を残され

ているが、人事異動後、新任地の職場を批判したり、旧任地の仕事ぶりを未練がましく気にしたり、わしが、わしのがの声をよく耳にするが、組織のなかで働く者がよく聞かざる、見ざる、言わざるの三猿主義を心に誓ったものの、続いて畜産だよりに投稿すると、ネタがどうしても京阪神のこととなると、迷惑にならない程度で話題を拾わせていただくこととして、まず世界的に逼迫している肉資源に関連し、水稲単作から肉用牛専業、また複合経営と伸展している大中の湖農協を次号で紹介しよう。

フレーク飼料

○肥育牛
乳牛用に抜群
○とうもろこしを蒸煮し
澱粉をアルファ化した
肥育牛、乳牛の新しい
飼料です。

中国物産株式会社

笠岡市笠岡 TEL 08656 3154

牛の健康、緑の牧草は タンカルで良い草を！

効めの早い タンカル肥料
持続性のある 土改1号、2号

足立石灰工業株式会社

岡山県新見市足立 TEL (086738) 代表1番

養鶏試験場のページ

新しい養鶏試験場

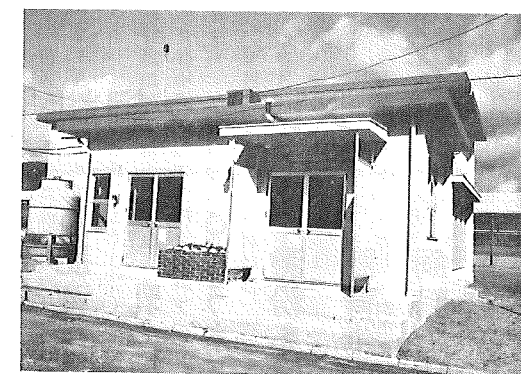
特別研究員 村田 武久

昭和四十五年度から移転整備を進めてまいりました、養鶏試験場の建設工事が無事完了し、去る三月二十七日に落成記念式典が盛大に挙行されました。新しい養鶏試験場の概要と昭和四十六年度に建設した本館や鶏舎関係については、本誌の昨年六月号で紹介いたしました。今回は四十七年度に建設された主な鶏舎関係について紹介いたします。

一台を設置しています。冷暖房施設が完了し、さらに、貯卵室にはエッグクーラーを備えてふ化率の向上を図っています。また、ハッチャー室、鑑別室などには特別な集じん装置が設けられており、ふ卵衛生対策の万全を期しています。

(一) 環境制御試験舎

鉄筋コンクリート、平屋建て、二次空調方式並びに中央制御監視方式をとっています。鶏の飼育室は四室あり、各室とも温度・湿度・照度・音響などがそれぞれ制御できるように設計されています。空調機は機械室に第一次空調機を、飼

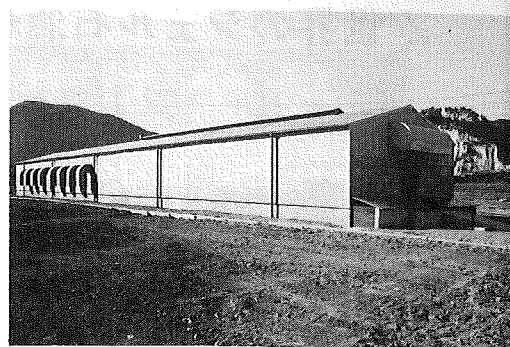


環境制御試験舎

育室の天井の上に第二次空調機を設置しています。監視記録室ではテレビや記録計により、各飼育室の鶏の生理・生態が監視できるようになっています。したがって、この試験舎においては、夏冬や梅雨時の影響などを、自由に条件を設定して、鶏の生産性の調査に併せて、生理・生態についても十分調査をして、この結果を他の実用鶏舎の試験と関連をもちながら試験を進めて行きます。

(二) ウインドウレス鶏舎

軽量鉄骨スレート葺、平屋建て換気方法は陽庄(第二種換気)方法と陰庄(第



ウインドウレス鶏舎

(三) 幼すう舎

軽量鉄骨、スレート葺、平屋建て給温室、管理室、廃温室に分れています。給温室には立体電熱育すう器を設置し、廃温室には送風装置を備えています。なお、廃温ケージはひなを入れたままで、自由に取りはずしができ、ひなの体重測定や移動に非常に便利のように工夫されています。

(四) 育成舎

軽量鉄骨、スレート葺、平屋建て、換気方法は、陽庄(第二種換気)方法をとっています。育すう器は傘型ガスブルーダーを設置するとともに、なお、重油のボイラーを使用した温湯式下部給温施設を備え下面給温ができるようになっていきます。

(五) 中大すう舎

軽量鉄骨、スレート葺、平屋建て、自動除糞機を設置するため、一二〜一三羽用の一段ケージを使用し、前面で給飼、後面で給水ができるように、ケージを改良しています。なお、送風装置も設置されています。

(六) 経営試験鶏舎

軽量鉄骨、スレート葺、平屋建て自動給餌機、集卵機、除糞機を設置しており、いわゆる、ワンマン鶏舎です。この鶏舎では今後予想される機械化養鶏に対応して、経済性を主とした経営試験を実施して行きます。

各種細菌感染症に

クロロマイセチン

広範かつ強力な抗菌作用
動物用クロロマイセチン筋注用

懸濁・溶解の手間がいらない
動物用クロロマイセチン注射液

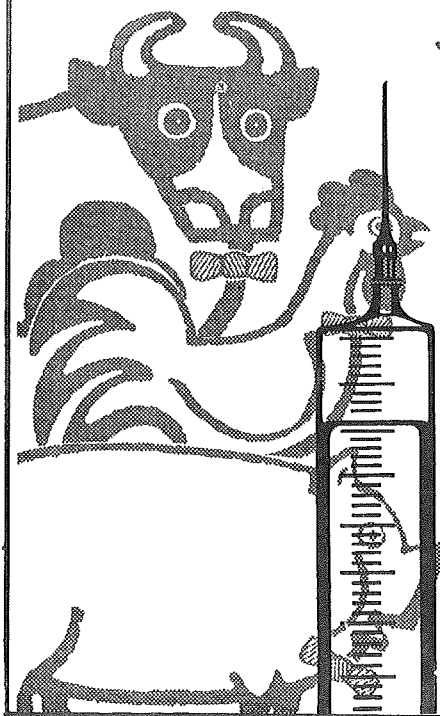
高濃度の新製品
動物用クロロマイセチン注射液-S

幼弱動物に
動物用クロロマイセチンパルミテート液

クロマイナビタミン剤
動物用クロマイレミックス

販売元

三共株式会社



養鶏・畜産害虫防除の万能殺虫剤

フライホン

水溶性粉末殺虫剤

100g化粧缶×50
500g化粧缶×10

ハエ・カ・ゴキブリ

ハジラミ・サシバエ

マダニ・ワクモ

防除に新兵器!

取扱いが簡単!

NIPPON ZENYAKU

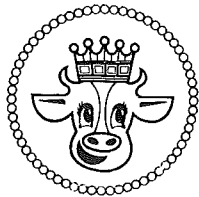
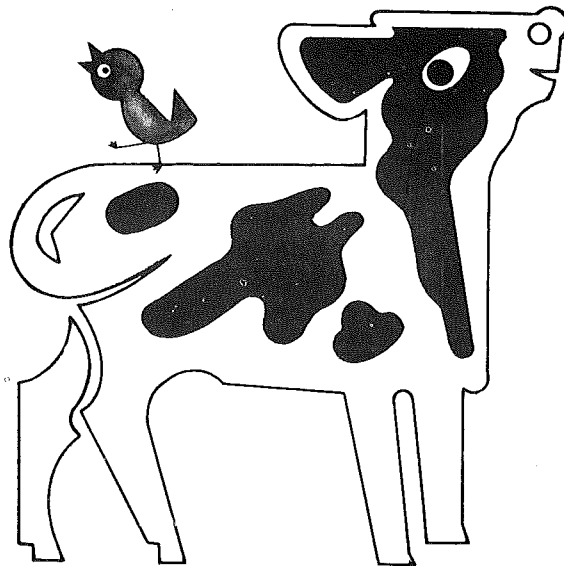
乳は国産 エサは全酪

団結は力！
系統利用は団結の象徴

最高の水準をゆく全酪連乳用子牛育成体系
(乳牛の飼料は専門の全酪連におまかせ下さい)

主要取扱品目

専管、増産ふすま。外国大麦飼料。
カーフトップ。脱粉飼料。カーフスターター。
幼牛用、搾乳用配合飼料。
その他酪農用飼料資材全般。
市乳、バター、チーズ、練乳、粉乳。



日夜酪農民の利益増進に奉仕する酪農専門農協！
全国酪農業協同組合連合会



牛乳の20%増産の秘訣は
蚊・蠅のいない好環境から

DAIRY
酪農かとりせんこう

■本品はピレトリンだけを含有、問題になったDDT、BHC、ドリソ等の塩素系薬剤は一切含んでおりません。従って牛の健康をそこのおぼや、しかも牛乳中にも毒性が検出されません。

お求めは所属の組合へ

豊年薬品商会

大阪市住吉区東加賀屋町3-5-2
電話 大阪 06 (671)5662(代表)
郵便番号 558

第二四巻 第五号
昭和四十八年五月二十五日発行
編集者 岡山人人
発行所 岡山市上三井原宅茂忠喜雄
印刷所 岡山市下石井原宅茂忠喜雄
定価 一電ふ岡振電岡編発
部話山替話山人人五月二
百表や丸岡山下三五日
円⑨高の山石原宅茂忠
(送四速内八八井原宅茂忠
料九のの七七五五五
共一印一五五五
番所一五五五
番所一五五五

編集室から
今月は特集として人間惣津さんの思い出話をのせました。故人を偲んでいたきたいと思えます。
惣津さんが本誌一月号に書かれた「年頭にあたって」が本誌への寄稿の最後になりましたが、その内容は岡山県の畜産は飼料基盤の確立が必要で、なお一層研究発展させるために畜産試験場に草地区を作ることを提唱されておられます。今日のように物価が上り畜産農家は大きな打撃を受けていますが、特に飼料の値上りは生産費をつり上げているのが実情であります。惣津さんはこの点を見透しておられたのであります。
一面では高い濃厚飼料を上手に与えて飼料の生産効果をあげる技術が、今後は重要なものとなります。

!!世界のシェル石油が牛豚舎用新床材を発売!!

シェル フリントコート
(コンポジット、マステックフロア)

- 〔1〕床面弾力性、牛豚に最適
- 〔2〕床面無吸水による衛生管理最適
- 〔3〕すべらない床面
- 〔4〕耐熱性にすぐれ、居住性良好
- 〔5〕労務費その他能率的作業向上による経費節減



シェル石油株式会社

本社 東京都千代田区霞が関3-2-5 (霞が関ビル)
TEL 03-580-1111

岡山地区取扱店

英日石油株式会社岡山営業所

岡山市本町10の22本町ビル TEL 0862-31-4235

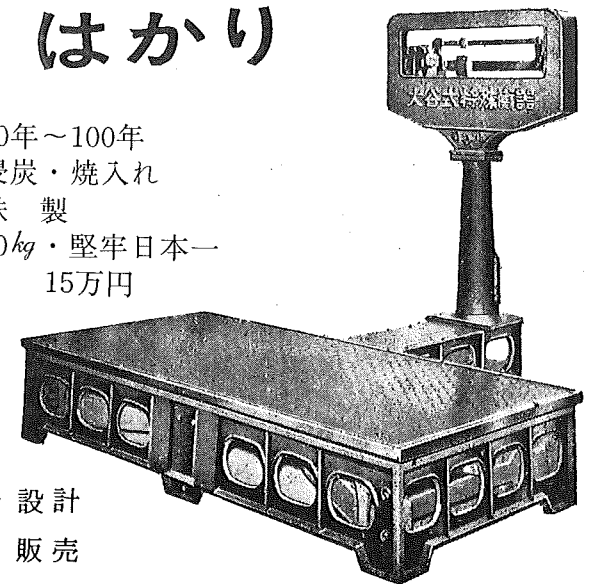
施工担当

中央工業株式会社

岡山市浜185の1 TEL 0862-72-3291

大谷の☆はかり

耐久力 50年~100年
高周波・浸炭・焼入れ
総 鑄 鉄 製
骨の重量80kg・堅牢日本一
暫定卸値 15万円



大谷式特殊衡器 } 製作・設計
規格台秤, 指示はかり } 修理・販売

元録二年創業 旧秤座

有限**大谷製衡所**

工場 岡山市長岡267 東岡山金属加工センター
営業所 岡山市東島田町1丁目7番3号
電話 岡山 (0862) 31局4155番(代表)